

オオゴマダラ



空に向かって、オオゴマダラを放つ

蝶の飛び交う未来へ向けて!!

平成11年10月に具志川ちょうちょう愛好会として産声をあげた私達の愛好会も今年で10周年を迎えます。その間、市内の各学校や公共施設などへ蝶の食草の普及活動や環境学習の指導、支援活動を行い、次の世代を担う子どもたちの情操教育に努力してきました。

2市2町の合併により、うるま市ちょうちょう愛好会となった今でも、根底に流れる理念は変わることなく受け継がれ、さらなる発展のため歩み続けています。

見かけは小さな蝶ですが、その蝶が人の心を癒し、そして地球環境という果てしない大舞台へと誘う、そんなロマンを共有する仲間達とともにちょうちょう愛好会は未来と羽ばたいて行きます。

うるま市ちょうちょう愛好会
ちねん ひでき
知念 秀樹 (文・写真)



展示：県民環境フェア in うるまにて



展示：生涯学習フェスティバルにて

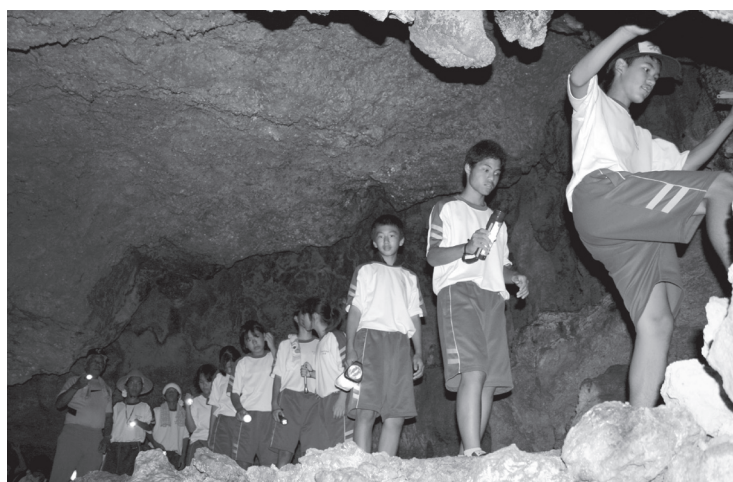
平和を考える

ヌチシヌジガマ平和体験学習

6月17日、市石川嘉手苅の「ヌチシヌジガマ」で平和体験学習が行われ、平安座中学校1年生から3年生、35名が参加しました。

この体験学習は、沖縄戦当時の様子を知ってもらおうと、児童、生徒らを対象に毎年開かれています。

当時の住民らが身を寄せ合いながら生活を送っていた場所に足を運んだ生徒らは、ガイドの話に耳を傾けながら、戦争の悲惨さ、苦しさを思い浮かべ、平和の大切さを学んでいました。



ヌチシヌジガマ

石川嘉手苅にある、自然洞窟で、全長およそ200m。ガマには、3つの口がありメーヌ（前の）テラ、ナカヌ（中の）テラ、クシヌ（後ろの）のテラと呼ばれ、洞窟内で1つに繋がっている。

1945年3月頃から戦闘終結の6月まで、約300人の住民が、3ヶ月間の避難生活を送り、1人の犠牲者も出さず『命をしのいだ』ガマとして知られ、県外からも多くの修学旅行生が訪れている。

平和資料展 沖縄戦の絵

～うるま市民が見た沖縄戦～

日時 7月15日(火)～8月31日(日)
午前9時～午後5時(休館：月曜日、公休日の翌日)

場所 市立石川歴史民俗資料館

沖縄戦を伝えるときには、実体験談、戦場の写真、火炎放射器で焼かれた着物など様々な方法がある。体験者が描く絵には、体験談に加え、言葉では伝えきれない、体験者のみが描ける迫力、その人にしかできない伝達力があると言える。

多くの県民が描いた沖縄戦の絵を所蔵する県平和記念資料館よりうるま市民が描いた「沖縄戦の絵」を借り受けて市民に公開し、平和な未来を考える機会にしたい。

お問い合わせ 市立石川歴史民俗資料館 ☎965-3866